

道徳科学習指導案

主題名：社会に積極的に関わることの意味を考えよう 授業日時 令和3年11月4日（木）第3校時

[C- (13) 社会参画, 公共の精神]

授業学級 1年C組

授業会場 1年C組教室

資料名：紙芝居

授業者

（「きみがいちばんひかるとき1」光村図書）

指導者

(1) ねらい

社会に積極的に参加することの意義について考えを深めることができる。

(2) 授業のポイント

- ・場面：資料「紙芝居」を読み、私の気持ちの変化について考える。
- ・活動：ボランティアの活動を通して私の気持ちがどのように変化したのか考えたり、ボランティアの経験が今後の私の生活や考えにどのような影響を与えているかを考えたりする。

(3) 展開

過程	活動	○授業者の主発問・◇留意点・ 評価	時間
導入	1. 「社会に積極的に参加した経験」について考える。	○これまで、ボランティアなどに参加した経験はありますか。 ◇社会に参加する前後でどのような気持ちだったかを想起するよう問い返しをする。	10
	【テーマ】社会に積極的に関わることの意味を考えよう。		
	2. 資料を範読し、場面や登場人物の確認をする。	◇資料のあらすじと登場人物について、中心となる出来事について全体で確認し、発問につなげる。	
展開	【発問】ボランティアの活動を通して私の気持ちはどのように変化しているだろうか。		15
	3. 各自の考えを共有し、全体で話し合う。	○（生徒の発言に対して）なぜそのような考えますか。／同じような考えはありますか。／別の視点からどうですか。／友の考えについてどう考えますか。 ◇一人一人にワークシートを配布し、私の気持ちの変化をグラフにさせ、気持ちの動きに着目させる。	
	【中心発問】あなただったら紙芝居のボランティアに参加するだろうか。		15
	4. 各自の考えを共有し、全体で話し合う。	◇私と同じように自分にボランティアの話が来たとき、自分であれば参加するか考え、自分が社会のためにできることを考えるよう促す。 【評価】社会に積極的に参加することの意味について考えを深めている。	
終末	5. 授業を振り返る。	◇どのように社会参加をしていくか、どうしたら社会参加できるのか、具体的に書いている生徒を指名し、全体に考えを共有する。	10

【板書計画】

「紙芝居」より

あらすじ



ボランティアの活動を通して私の気持ちはどのように変化しているだろうか。

章太郎の話で雰囲気がよくなっている。
子供たちの声やサークルの人の声でやりがいを感じている。

あなただったら紙芝居のボランティアに参加するだろうか。

良い経験になりそうだし、楽しそうなので参加したい。
紙芝居を読むのは恥ずかしいから他のボランティアだったら参加したい。

振り返り

「紙芝居」

氏名 _____

1. 「私」の気持ちの変化をグラフ化しよう！

2. あなただったら紙芝居のボランティアに参加するだろうか。

3. 振り返り（どうしたら社会と関われるか、どのように社会に関わりたいか）